



スピードの限界に挑む

公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟 中長期計画



写真: アフロスポーツ

はじめに

JBLSFは加盟団体の皆様、
各事業に参加する皆様、
企業スポンサーの皆様、
連盟スタッフをはじめとする
「そり」に関わる皆様と共に
ミッションを達成することを誓います

MISSION
～100年後も変わらない使命～

そりで世界を駆ける
日本と世界を繋ぐ

私たちは常に挑戦し、日本にそり文化を創っていきます

そり競技を通じて日本と世界をつないでいきます

応援してくれる人たちに、そり競技で感動を与え、
私たちみんなが幸せになるよう進んでいきます

100年後も競技ができる自然環境を守っていきます



そり競技には、

①環境を守る力があります

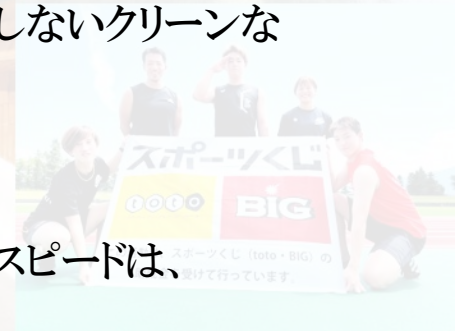
そり競技は自然の地形を利用したコースや、化石燃料を必要せず二酸化炭素を排出しないクリーンなスポーツであることから自然と共生し環境を守ります。

②スピードの魅力に誘う(いざなう)力があります

時には130km/hを超えるスピードで滑走するそり競技。自然や人の力だけで生み出すスピードは、実際に見る人々を魅了し、迫力のある世界へ引き込みます。

③世界と繋がる力があります

現在、国内では国際基準で試合ができる製氷されたコースは無く、活動の多くは海外で行っています。海外活動の場で、そりを通して、世界へ日本の文化を発信します。



MISSION

～100年後も変わらない使命～

VISION

～2030五輪に向けて～

VALUE

～共有する価値観～

そりで世界を駆ける 日本と世界を繋ぐ

社会に貢献する人材を育成・輩出していく
オリンピックで金メダルを獲る未来を、全員で共有する
選手強化のためのシステム構築
積極的な情報開示・情報発信
加盟団体、他国連盟、他競技との連携

同じ船に乗って、みんなで進む
自ら考え、率先して動く
情報を共有する
開拓精神、挑み続ける
全員が幸福感を得る

JBLSFアクションプラン

2030五輪に向けて、6つのVISIONを達成するために行うべき事

強化

人材育成

普及

**組織力の
強化**

連携強化

**情報開示
共有**

強化

- オリンピックで金メダルを獲得、トップアスリートとして世界に発信していく未来を、全員で共有する
- 子供たちから憧れられる選手および国民に元気を与えるような選手を育成する
- 2030年に向けた、強化戦略プランの立案と実践
- 3競技の垣根を越えて、全てのスタッフで全ての選手を育てる



人材育成

- 社会に貢献する人材を育成・輩出していく
- 選手・スタッフともに、継続的なインテグリティに関する勉強会を行う
- 計画的なスタッフの育成（適正なスタッフ数の維持）



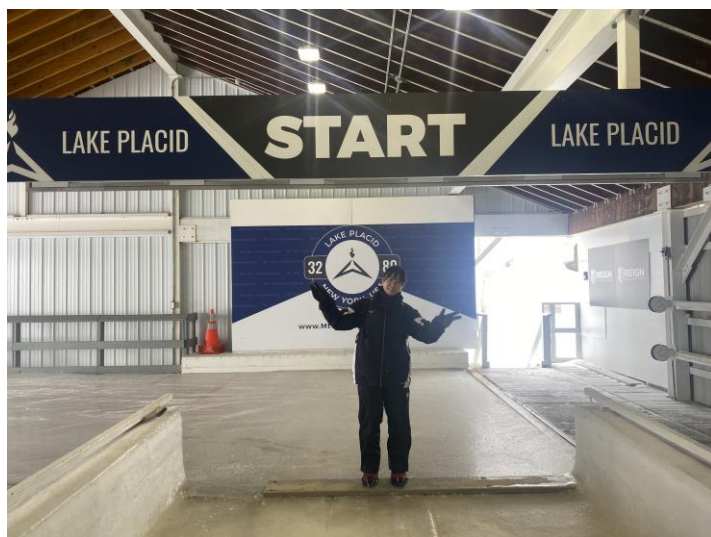
普及

- 競技の魅力を発信する。
主に若年層に、競技の面白さに気がついてもらう
- 各加盟団体の普及活動の支援
- 連盟アカウントのツイッターやInstagramの活用
- HPコンテンツの充実化を図り、競技を知らない人にも
関心を持ってもらえるようにする



組織力の強化

- 選手強化のためのシステム構築
- 組織の人材が交代しても常に同じクオリティの組織運営を目指す
- 安定的な収入の確保



連携強化

- 加盟団体、他国連盟、他競技との連携
- 各加盟団体がどのような普及活動を行っているか把握し、加盟団体全体に共有する
- 陸上などの他競技との二刀流の推進



情報開示・共有



- 積極的な情報開示・情報発信
- 全てのスタッフが、競技の垣根を越えて、3競技全ての事業の状況及び選手の状況を把握できるようにする
- 年間スケジュールを共有し、3競技合同で定期的なミーティングを行う

2023年5月15日：初版公開

※本計画は予告なく変更となる可能性があります。あらかじめご了承ください。 10

